

運営及び競技の規定（一部抜粋）

- (1) 本大会は（公財）日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブック及び、本大会「運営及び競技の規定」に則って行う。
- (2) マッチは7Gを原則とする。
- (3) 使用球は団体戦は、上位大会にならない、男女団体戦を（ ケンコー ）、個人戦男子（ アカエム ）、個人戦女子（ ダンロップ ）とする。
- (4) 服装・ゼッケンについては、選手・監督・外部指導者（コーチ）は「要項」の規定に従うこと。「要項」に違反がある場合は出場・ベンチ入りを認めない。
- (5) ベンチは若い番号が（ 体育館 ）側を利用する。
- (6) ベンチ入りは登録選手（団体8名以内・個人2名）と監督（校長・教員・部活動指導員）または中体連の認めた外部指導者のいずれか1名による最大9名、個人戦も同様に最大3名とする。
- (7) 選手・監督・外部指導者の変更の場合は、各種「変更届」を各地区専門委員長に提出し、監督会議で承認を得ること。
- (8) 感染症防止のため、声を出す応援は行わない。また、熱中症防止のため、試合中ベンチにおいてもマスクを外すことができる。その際は、声を出す応援はもちろん、会話も行わないものとする。
- (9) 団体戦について
- (ア) 団体戦トーナメントにおいて、各学校初戦のみ第3マッチまで行う。
それ以後は2-0で対戦を終了する。
- (イ) 団体戦の審判は、相互審判を原則とし、上位の対戦を本部審判とする。
- (ウ) 勝者が採点表（ジャッジペーパー）を本部へ届ける。
- (10) 個人戦について
- (ア) 第1試合の審判のみ本部で以下のように割り当てる。
- ① () ② () ③ () ④ () ⑤ () ⑥ () ⑦ () ⑧ ()
⑨ () ⑩ () ⑪ () ⑫ () ⑬ () ⑭ () ⑮ () ⑯ ()
- (イ) 第2試合以後の審判は、敗者審判を原則とし、上位の対戦を本部審判とする。
- (ウ) 勝者が採点表（ジャッジペーパー）を本部へ届ける。
- (11) 服装・医療用具等について
- (ア) 「要項」の規定による、用具・ウエア・ゼッケン・ソックス・シューズを使用すること。
- (イ) シャツの裾を外へ出したり袖をまくることはしない。
- (ウ) サポーター等の着用の場合は「医療用具使用届」を各地区専門委員長に提出すること。
- (12) 会場使用について
※会場使用注意事項及び感染症防止策については別紙
- (13) 参加校数・参加選手数

大会参加数	参加校数	参加選手数
男子	30 校	168 人
女子	27 校	168 人